

生命のつながり [1] 植物の発芽と成長（教科書P24～P31）

名前（ ）

実験1 「発芽には水は必要か調べよう」

水	あり	なし
空気	あり	あり
温度	同じ温度のところ（約20°C）	同じ温度のところ（約20°C）
結果		

実験2 「発芽には空気は必要か調べよう」

水	あり	あり
空気	あり	なし
温度	同じ温度のところ（約20°C）	同じ温度のところ（約20°C）
結果		

実験3 「発芽には温度が関係しているか調べよう」

水	あり	あり
空気	あり	あり
温度	同じ温度のところ（約20°C）	同じ温度のところ（約5°C）
結果		

<結果から考えたこと（考察）>

生命のつながり [1] 植物の発芽と成長 (教科書 P24~P31)

名前 (実験のやり方)

<配布したもの> 紙コップ6つ インゲンマメの種子6粒 だし綿

実験1 「発芽には水は必要か調べよう」

準備 インゲンマメの種子2つ

・だし綿を入れた紙コップ2つ

- ① 2つの紙コップのうち、1つの紙コップのだし綿をしめらせる。もう1つの紙コップはなにもしない。
- ② 2つの紙コップそれぞれにインゲンマメの種子を入れ、数日間、観察する。

- ③ 実験結果に「発芽した」または「発芽しなかった」を書く。

実験2 「発芽には空気は必要か調べよう」

準備 インゲンマメの種子2つ

・だし綿を入れた紙コップ2つ

- ① 紙コップのだし綿を2つともしめらせる。

- ② 2つの紙コップそれインゲンマメの種子を入れる。

- ③ 2つの紙コップのうち、1つの紙コップに水を加えて種子をしづめ、種子が空気ふれないようにする。

- ④ 数日間観察をし、実験結果に「発芽した」または「発芽しなかった」を書く。

実験3 「発芽には温度が関係しているか調べよう」

準備 インゲンマメの種子2つ

・だし綿を入れた紙コップ2つ

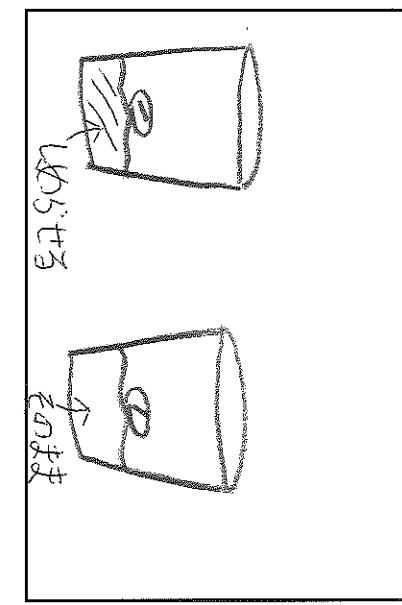
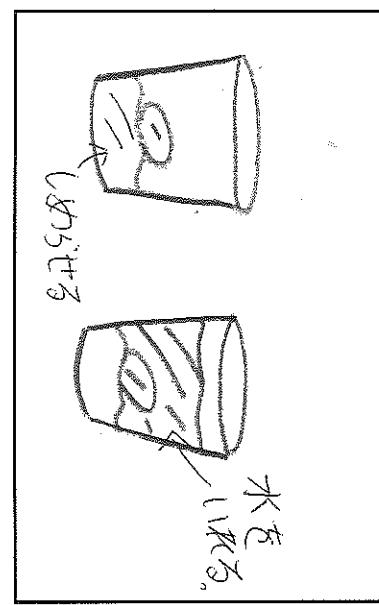
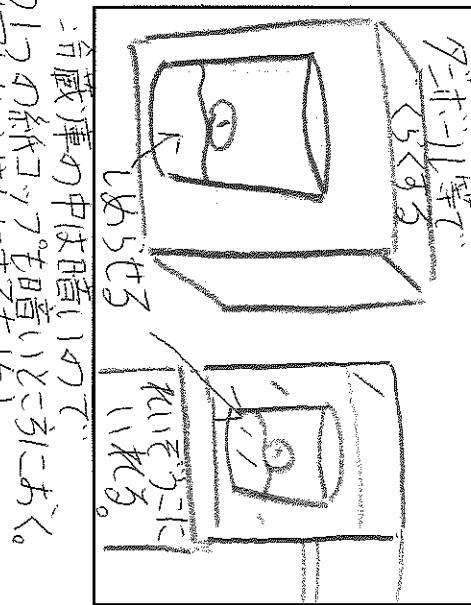
・段ボールや新聞紙(暗くできるもの)

- ① 紙コップのだし綿を2つともしめらせる。
- ② 2つの紙コップそれインゲンマメの種子を入れる。
- ③ 2つの紙コップのうち、1つの紙コップは冷蔵庫に入れ、もう1つの紙コップには段ボールなどをかぶせ暗くする。
- ④ 数日間観察をし、実験結果に「発芽した」または「発芽しなかった」を書く。

結果から考えたこと (考察)

種子が発芽するには、()、()、発芽に()の3つの

じょうけんが必要である。



発芽したインゲンマメはそのまま育ててみよう。